

令和7年 労働災害発生状況一覧表（木材製材）

番号	作業種別	原因別	場所	発生日	時間帯	年代	経験年数	災害発生状況	傷病の程度	発生原因	再発防止策
1	構内移動	転倒	製材工場構内	R7.2.20	5	70	1～10年未満	早朝に構内を歩行中、足元が滑り後方に転倒し、後頭部と右横腹を強打した。	後頭部と右横腹 打撲[休業3日]	除雪したことで圧雪バーンとなり滑りやすい状態だった。歩きながら挨拶をしたとき一瞬油断した。	滑るという意識で歩幅を小さくして歩行する。圧雪バーンの上を歩くときは特に注意する。
2	清掃等	その他	製材工場内	R7.3.25	12	70	20～30年未満	午前の作業を終え、体についてオガ屑をエアークンプレッサで払っていた時、右目付近に高圧力のエアークンプレッサが当たってしまい負傷した。	右目 結膜裂創 顔面 皮下気腫[休業6日]	エアークンプレッサのエアークンプレッサを目に噴射してしまったため	作業着・帽子に使用する場合は脱いでから使用する。また、体に向けて使用しない。
3	林業機械	激突	木材市場	R7.5.20	9	40	1～10年未満	グラップルクレーンが木材をつかんで左旋回したところ、グラップルクレーンの旋回範囲内で検尺作業していた作業員の肩に木材が接触し負傷した。	右肩 甲骨骨折[全治2ヶ月]	グラップルクレーンの旋回範囲内に合図なく侵入してしまった。グラップルクレーンのオペレーターが旋回時に、周囲の安全確認を怠った。	グラップルクレーンの旋回範囲内に進入禁止を徹底する。旋回範囲内に入る必要がある場合は必ずオペレーターに合図し安全確認する。ヒヤリハット事例の共有と安全教育を徹底する。
4	検品	製材機械	製材工場内	R7.8.11	14	60	30～40年未満	仕上げ機の搬送ライン上で、仕上がり状況を確認するため、材を裏返そうとしたところ、左人差し指が送りローラーに巻き込まれ被災した。	左人差し指 捻挫創[休業2ヶ月以上]	仕上げ機と搬送ラインを動かしたまま、手で材を動かそうとしたため	搬送ライン上で、手で材を動かすときは、加工機械及び搬送ラインの停止を徹底する。
5	検品	その他	製材工場内	R7.10.24	13	40	1～10年未満	二人で製品の検品作業をしていたところ、腰の痛みが我慢できなくなり昼で早退した。	腰椎椎間板ヘルニア[休業1ヶ月]	仕事による疲労の蓄積が原因か不明。	腰に痛みがある時は、腰痛用のサポーターなどで保護する。痛みが治まらないときは無理をしない。